

勝山市における 小水力発電事業について

三峰川電力株式会社

2018年11月



MIBUGAWA
Electric Power

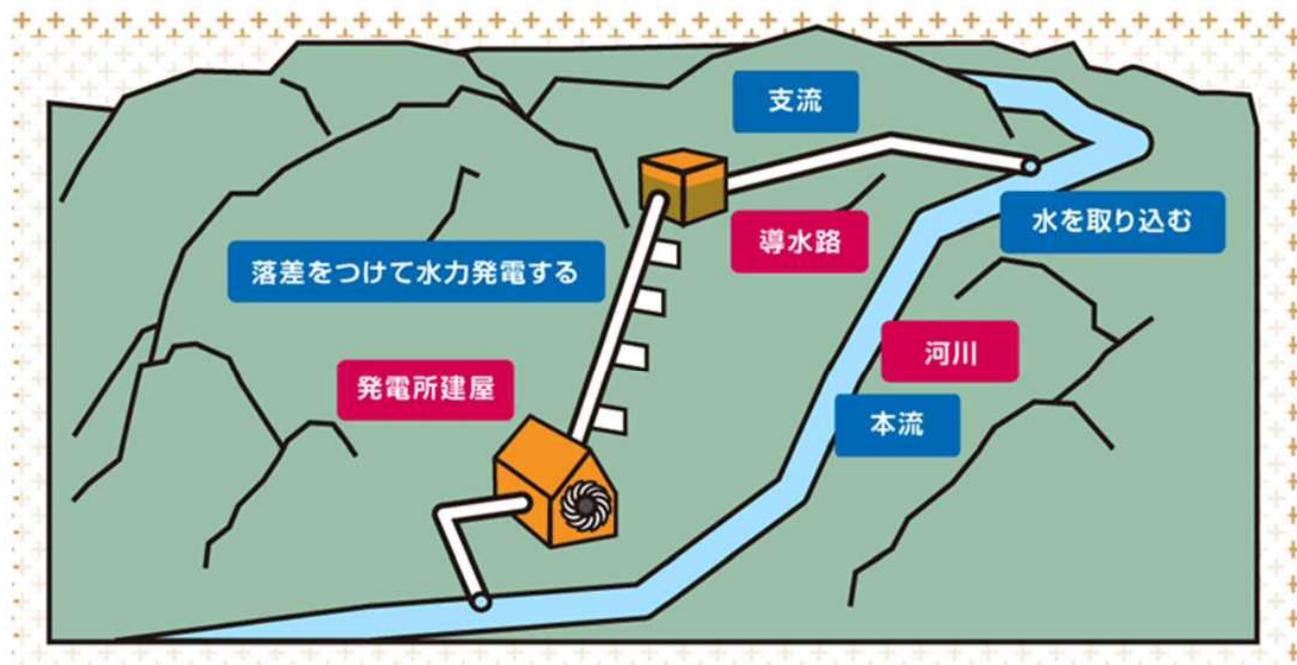
位置図

所在地: 勝山市荒土町細野 周辺



水力発電の仕組み

3



水力発電では、河川より取り込んだ水を発電後に全て戻します。但し、水を取り込んでから戻すまでの間（減水区間と言います）、流量が減少しますが、維持流量により河川環境の維持に努めます。

概略計画

4



諸元	
最大取水	1.00 [m ³ /s]
有効落差	70.87 [m]
最大出力	540 [kw]

工程表 (案)

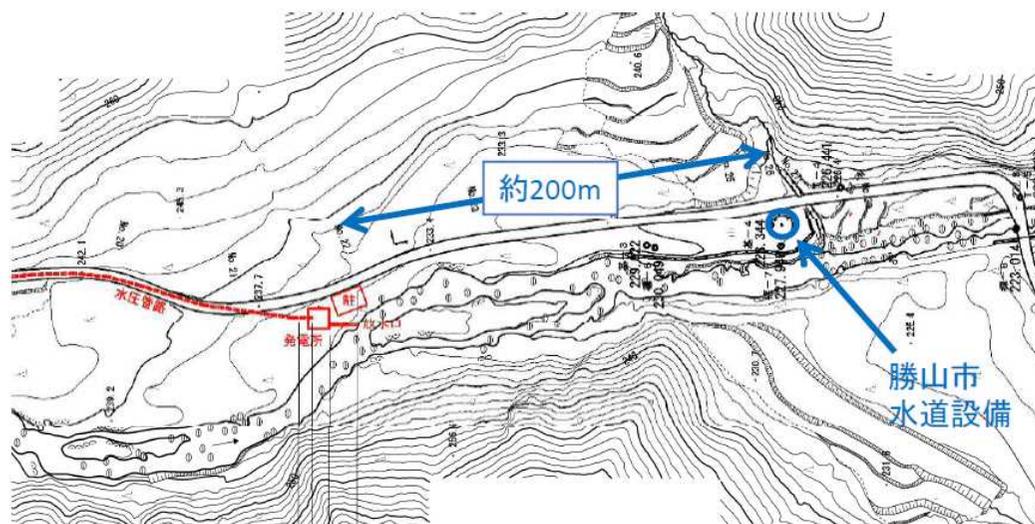
5

内容	H30												H31												H32												H33								備考
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8				
調査・設計	■																																												
建設工事																									■																				
運転開始																																													■

発電所建屋付近

6

- ・三峰川電力株の発電計画では、発電所建屋が水道設備と一番近い。(約200m程度の距離)
- ・発電所建屋工事による勝山市水道設備内の水質への影響を調査する。



水質調査概要（案）

■水質調査目的

掘削による水道原水への影響を調査すること

■想定される影響への調査方法

①掘削中による一時的な影響

この影響については「濁度」が想定され、時間経過と共に影響がなくなることが一般的。

調査方法:掘削前後において、水道設備の濁度計を観測(勝山市様にご協力いただく)

②掘削後の持続的な影響

この影響については、掘削による地下水脈変化による「地下水減少」及び「水質変化」を想定。

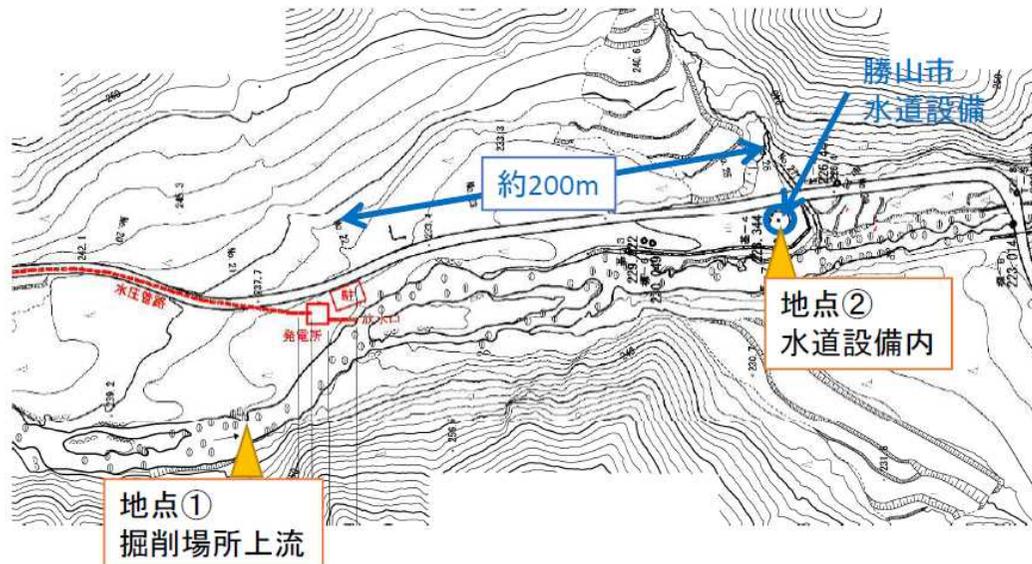
「地下水減少」の調査方法:掘削前後において、水道設備の流量計を観測(勝山市様にご協力いただく)

「水質変化」の調査方法:掘削前後において、水道原水のEC及びpHの連続計測
さらに、定期採水による詳細水質調査

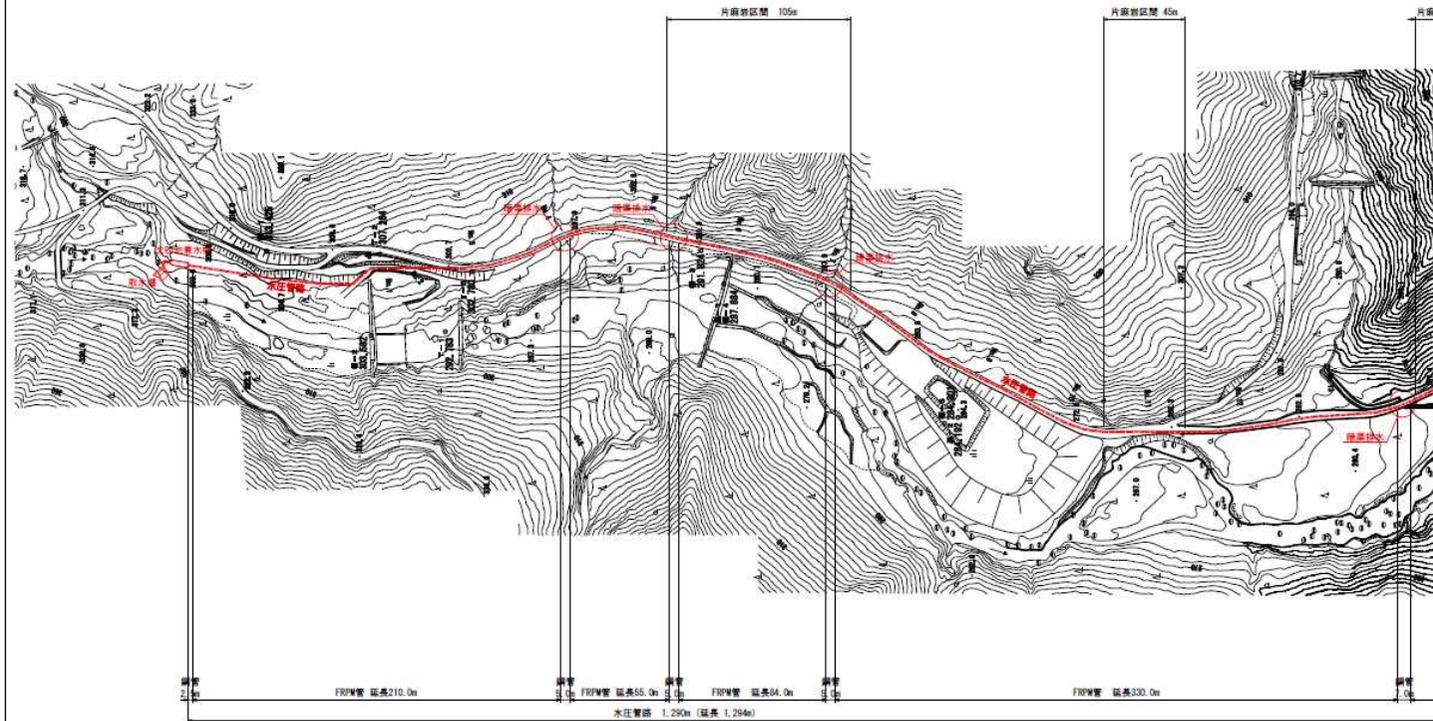
水質調査方法（案）

8

- ①下記、2地点において、採水調査。（濁度、金属イオンなど）
- ②水道設備内において、EC・pH計を設置。以降、EC・pHの連続計測。
- ③発電所建屋計画位置において、実際の工事を想定した掘削を実施。（掘削深さ4m程度）このとき、地下水の有無を調査。
- ④2地点において、掘削直後・掘削一週間後・掘削1ヶ月後において採水調査。（濁度、金属イオンなど）
- ⑤①～④の調査結果を比較し、掘削による水質への影響を考察。



全体平面図 (上流部)

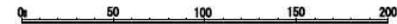
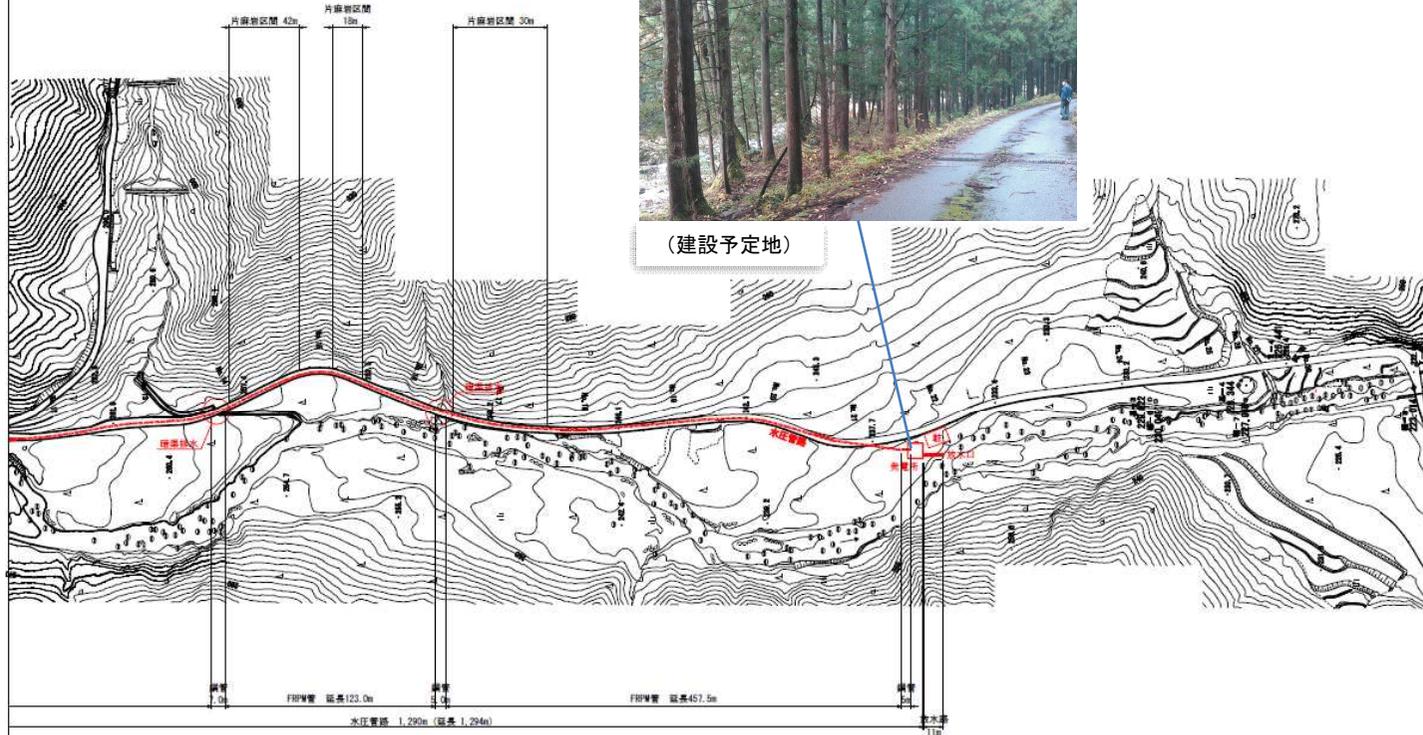


工事名	A地区
図面名	全体平面図 (上流部)
作成年月日	2018年3月
縮尺	A3 1/2000 図面番号 第1号図-1
作成者	
承認者	

全体平面図（下流部）



（建設予定地）



工事名	大地点
図面名	全体平面図（下流部）
作成年月日	2018年3月
縮尺	A3 1/2000 図面番号 第1号第2
作成者	
承認者	

< 参考資料1 >

埋設水圧管断面図

